

令和3年度 学生FD CHAmiT 学部提案書に基づく改善報告書

【生産工学部】

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
① 令和4年1月24日	① 学生FD活動推進プロジェクトのミーティングにおいて、延期している「しゃべり場」の予行演習の打合せを行うとともに、延期された「しゃべり場」のテーマを今回の「IT化と大学教育」に沿った内容とすることを確認しました。（学生11名，教員1名）
② 令和4年2月11日	② CHAmiT参加者で意見交換会を行い内容の精査を行いました。（学生4名，教員1名）
③ 令和4年2月17日	※都合により参加できなかった学生10名，教職員4名とは，メールにより意見収集を実施しました。 ③ 学生FD活動推進プロジェクトのミーティングにおいて，学部提案書の内容を周知させるための啓発ポスターの作成について検討しました。（学生7名，教員1名）

2 学部提案書の対応について

① 昨年度報告書の状況

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
教職学で今後の授業の在り方を考える		○		令和3年6月に教員主催のしゃべり場を開催し，オンライン授業における学生の状況と教員の状況との情報交換を行っております。 さらに，学生目線として，学生FD活動推進プロジェクトが主催するしゃべり場を9月頃に実施する予定でした。しかしながら，コロナ禍の影響により，学生FD活動推進プロジェクト内での引き継ぎが上手くいっていなかったり，メンバーがファシリテーションの能力を獲得するような経験が積めていなかったりしたため延期となっております。 現在は，学生FD活動推進プロジェクトのメンバーが教職員とともにファシリテーション研修会に参加したり，「理想とする学生像」をテーマに模擬のしゃべり場を実施したりと令和4年6月に予定している本番に向けて準備を進めている状況です。

② 新たな課題

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
イベントの開催および交流を目的としたクラスの設定		○		学生生活委員会および学生課で，現在のところ行われているもしくは今後予定されているイベントの調査および学生が望むイベントの検討を行います。その際に情報をClassroomなどで一元管理できないかも検討する予定です。 この他，生産工学特別演習という大学院科目において，学生主体で学生の交流を目的に開催したeスポーツ大会など，学部主催以外で学生が交流できる場についても，広く周知できるように検討します。
学生の自主的な学習・学習意欲の向上		○		学生FD活動推進プロジェクトが主体となって啓発ポスターを作成します。その際に，自主的な学習や学習意欲の向上に成功している学生の工夫を掲載することを検討しています。
オンライン授業から完全対面授業への移行期間	○			新型コロナウイルス感染拡大防止のため教室定員が厳格化されているため，すべての講義を対面授業で実施することは難しい状況にあります。そのため，結果的に段階的な完全対面授業への移行がなされることになります。
サークルや部活動などの活動制限の緩和	○			新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら可能な範囲の活動が行えるように対応は行っていますが，感染状況が刻々と変化する状況のため，学生への感染防止を第一に考えると大きく緩和することができない状況にあります。

令和3年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく改善報告書

【生産工学部】

③ 「IT化と大学教育」へ向けての提案について

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
オンライン授業の資産・資源を有効に活用する	○			前回の学部改善報告書でも記載したように、対面授業にも復習用にオンデマンドで利用していた動画を視聴できるようにして欲しい旨を周知したお陰で、多くの授業で講義動画が利用されていますが、未対応の講義もあるため、改めて学生の要望を周知いたします。 また、教職員側の呼びかけに加えて、学生FD活動推進プロジェクトが主体となって啓発ポスターを作成します。
学生の声を聴くため、教職員の声を届けるシステムの不足（学生の声が届いていないのでは）	○			授業評価アンケートのWEB化に伴い、学生からの自由記述に対して教員が回答を発信することが可能になりました。現在は学生への周知不足があったため、ポータルシステムより改めて案内するとともに、学生と教員のコミュニケーションを促していきます。 さらに、通常の講義時においては、対面授業やオンライン授業においてClassroomのコメント機能などを利用し、学生の声を聴く取り組みを継続していきます。
キャンパス内を分かりやすく紹介した動画やマップを作成		○		生産工学特別演習で学生が開発したLINEアプリを導入して、動画とマップをリンクさせたキャンパス紹介を考えています。
受講方法（試験の実施方法、課題の提出方法など）を知りたい	○			受講方法については、シラバスに明記し、ガイダンス時に説明がなされてはおります。授業評価アンケートなどで説明不足とされている教員には意識的に詳しい説明を実施してもらい、学生にも情報収集方法を周知していきます。
カリキュラムによりIT化を促進する		○		カリキュラム改定では総合的な検討が行われるため、長期的な議論が必要となります。そのため、令和4年度に行われるカリキュラム改定ではIT化への対応が難しかった面もあり、令和8年度に予定されているカリキュラム改定に向けて、IT化を視野に入れた議論を行っていきます。その際に、オンライン授業の資源活用として、履修科目外でも授業動画が視聴できるようなシステムについても検討していきます。

※①～③については、令和4年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。

3 生産工学部から学生へのメッセージ

昨年度に引き続き、色々と制約がある中、CHAmmiTでの成果物（学部提案書）を基に、学生FD活動推進プロジェクトメンバーとFD専門委員会委員とが協議して改善報告書をまとめていただいたことに、感謝申し上げます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が約2年間にわたり続いたため、学生FD活動推進プロジェクトの組織的な活動への影響もありましたが、学生メンバーを中心に、新たな課題の抽出や「IT化と大学教育」へ向けた提案をまとめていただきましたことに重ねてお礼申し上げます。オンライン授業の資産・資源に関しては、これまで蓄積した経験を活かし、すでに対応できる点もございますが、より充実したシステム構築に向けて、改善活動を進めてまいります。また、今回は、授業外の提案（例えば、学生が望むイベントの開催）も幾つかいただいております。より教・職・学が連携した改善活動が望まれていることを改めて認識させていただきました。
